



美木中だより 5月号

学校教育目標

郷土に誇りを持ち、知・徳・体を磨き続け、グローバル社会を生き抜く生徒の育成
～「創」美しい木々が健やかに育つ学校～

平成29年5月10日

発行

尾道市立美木中学校

2連覇達成



4月23日（日）尾道みなと祭「ええじゃん SANSA・がり」踊りコンテストが開催されました。本校は、3月から取組を始め、「絶対に金賞を獲得」という強い気持ちで練習を積み重ねてきました。当日は天候に恵まれ、熱い中での踊りでしたが、スタートから全力で最後まで踊りきりました。その結果、見事に金賞を獲得し、2連覇を達成しました。

これまでの先輩が築いてきた伝統があったとはいえ、3年生のリーダーシップは頼りがいがあり、2年生もその心意気に応えて、一丸となった結果だと思います。3年生の感想を読んでいると、充実感にあふれていました。そして、「来年も後輩たちに金賞を獲って3連覇を成し遂げてほしい」という思いも強く持っていました。

他校から追われる立場というのは、大きなプレッシャーだと思いますが、それを更なる前進の力に変え来年も頑張ってくれるものと期待しています。

ご指導いただきました西山美智子先生、沿道でご声援いただいた地域・保護者の皆様、給水ボランティアとしてお手伝いをいただいた皆さん、本当にありがとうございました。



社員としての決意を新たに（MNC 入社式）

美木中学校の特徴のひとつである模擬会社「MNC（ミキ・ナチュラル・カンパニー）」の入社식을4月22日（土）に行いました。式の中で元原田中学校の校長先生である 佐伯邦芳 様から、激励の講話をしていただきました。腐葉土づくりを始めた頃の話をお聞かせいただき、生徒たちも歴史の重みを感じ、責任感が高まったものと思います。腐葉土づくりや販売などは、主に1年生の活動になってきます。2年生からアドバイスをもらいながら、しっかり会社を盛り上げてほしいものです。



〔その1〕

4月のある日、校内の見回りをしていました。すると、2階から3階に上がる階段の踊り場の生徒作品が片方はずれていました。後で、糊を持ってきて直そうと思っていたのですが、忙しさにかまけて忘れてしまいました。その後、参観授業が始まり、授業参観をしているときに思い出し、掲示物を見てもきれいに貼られていました。生徒か先生かわかりませんが、とにかく様々なことに気づいて、行動できるというのはすばらしいことですね。

〔その2〕

ある朝、奥重教諭が「校長先生、今日は朝から気持ちがいいです」と言われました。それは、2年生の生徒に音楽の配布物を頼んだところ、「わかりました。」と笑顔で快く引き受けてくれたからだそうです。たまたま、「何で私が〜?!」とか言って、嫌がるそぶりをみせる生徒もいますが、美木中の生徒はすばらしいということでした。聞いている私もうれしくなる思いでした。

話を聞いてみてください

ある日の放課後、地域の方に「美木中学校はどんな教育をしているのか?」と、厳しくお叱りを受けました。お話を伺うと、「下校時に生徒が横に広がって自転車を走らせるため、度々危険な場面があった」、また、「クラクションを鳴らしたら『なんだ?』というような反抗的な態度をする生徒もいる」、とのことでした。自転車と自動車、いずれが優先?という話ではなく、自転車通学のルールとして「並列で走らない」というものがあります。ましてや、迷惑をかけているにもかかわらず、避けるどころか、反抗的な態度を取るとは...

お客様や地域の方から「さわやかなあいさつをしてくれる良い生徒たちですね」「ええじやんの優勝、すごいですね」と褒めていただくこともたくさんあるのですが、ちょっと残念です。

現在、教員が遊亀橋付近までの通学路に立って、指導しています。見ていけば、縦一列になり、笑顔で「さようなら」とあいさつをしながら下校できています。近い内に、監視（先生たちに見られる）されなくても大丈夫な状態になってほしいと思います。

保護者の皆さん、ほとんどの生徒が自転車通学です。ぜひ一度、子どもさんに、登下校の状態はどうか? マナー正しく自転車を走らせているのか? 聞いてみてください。そして、安全な登下校について、話をしてみてください。



「いつでも気軽に相談してください」

体罰、いじめ、セクシャル・ハラスメント相談窓口

【相談内容】 ・教職員からの体罰やセクシャル・ハラスメントについて ・いじめについて

【相談窓口】 宮野 勝徳 教頭 藤井 陽一 教諭 室崎 宏介 教諭
奥重 雅子 教諭 赤木 孝恵 養護教諭

【連絡先】 尾道市立美木中学校 TEL 48-0515 FAX 48-5060